

2022年3月事業部会「定例会議(林の日)」議事録(案)

日 時：3月10日(木) 18:00~19:30

場 所：世田谷区宮坂区民センター 3階 中会議室

出席者：19名(敬称略)

長谷川守、脇本和幸、古谷一祐、丹野修、三井大造、横井行男、小川里花、槇田幹夫、瀬川真治、丸山正、飯塚義則、飯島雅巳、浅井記子、芝原久、藤岡眞、鈴木幸代、葛西宗紀、菅原耕、陣野益実、
欠席者(事前連絡者)：(敬称略)

白井治子、枝澤修、小勝眞佐枝、入江克昌

司会：議事進行：脇本和幸 書記：浅井記子

議 題

(以下敬称略)

(1) 全体(確認・連絡・報告事項)

1. FIT運営委員会(森の日)報告 (長谷川)
3/12(土)：総会(4-restメールで通知済み)、成立要件(会員の過半数出席)は確保。
出席30余名、他は委任状による。
2. 2021年度会計報告、会計監査報告 ➡ 確認 (丹野・陣野)
会計報告：収支 -19,218円 次年度繰越金 ¥210,027円
会計監査報告(3/3付)：「決算書監査の結果、相違ないことを確認」
3. 2022年度予算(案) ➡ 確認 (古谷)
FIT総会后、2022年全体収支の金額を入力してMLで送付予定。
令和4年度予算(案)は、FIT交付金¥260,000が総会で承認後、予算(案)となる。
4. 事業部会・今年度役員・担当(案)について (長谷川)
2022年度(令和4年度)(2022.3.1~2023.2.28)事業部会組織(担当案)を提示。
「できる人ができることをやる」を原則とする。女性スタッフ2名追加枠有り。
➡ 確認(飯島さんの電話番号修正)
5. 事業部会HP及びMLの現況(参加人数など) (飯塚)
 - ・現在152名。合格年次別登録状況グラフ参照(別紙)。20年合格以降の会員が多い、実際はその約半分が活動している。
 - ・なりすましメールへの注意喚起(コンピューターウィルスなど)
 - ・HPに活動記録2件掲載(低山はいかい、3月・GC作戦)
 - ・総会以降はHPが有料版になる、これによりワードファイルの格納が可能になる(パスワード設定)。
 - ・ML、HP担当(副)に飯島さんが加わる、イベント情報の貼り付けから始めていただく予定。

(2) 各担当の報告等について

1. 森林ふれあい推進事業
 - 1) 体験参加者の応募状況について (脇本)
「カタクリ・シュンラン・ベニシダレ」：無し。今月中旬にこれからのイベントの体験参加を募集する予定。体験参加は会員のみとなっている。友の会については芝原さんに要望をまとめていただく。
 - 2) 関東森林管理局・イベント実施団体決定について (長谷川)
決定通知(2/22付)があった。協定仕様書にFIT印を押印して送付後、内1通が返送される。4月以降のふれあいイベントに関しては、準備を含め活動可能の内諾をいただいている。
 - 3) 実施マニュアルについて (脇本)
3/8メール添付で送付の「森林ふれあい推進事業 実施マニュアル」参照
A：募集人数について：①と②を追加することを提案 ➡ 確認
 - ① 毎年度社会状況を勘案し、募集人数を年度当初の事業部会(林の日)で協議をする。
 - ② 2022年度は40名とする。但し、社会状況が変化し、募集人数変更の必要があると認め

られる場合は、その都度事業部会（林の日）で協議の上、募集人数を変更する。

質問：「2022年度は40名とする」の40名の根拠について

⇒ これまでのコロナ禍では30人としてきたが、オミクロン株以降の政府の方針、感染力、高尾での他のイベント組織の情報を基に、実施仕様書4条2：「催行人数はイベント内容に応じて30名～50名程度とする」の中間をとって40人と考えた。

質問：キャンセルを含んだ人数で申し込みを受け付けていいか。

⇒ 上限がなくなる可能性があるので40人を超えないように配慮してほしい。（長谷川）

意見：協定書の通り「30～50」でいいのでは。

⇒ イベント一覧表は30名にしている。事業部として40名での運用はどうか。（脇本）

⇒ 毎年見直す。最大40名という意味。それ以下は班長に一任とする。（長谷川）

B：スタッフについて：（7～8名が理想）を追加する。➡ 確認

C：マニュアル改定は4月1日付とし、MLにて送付する。

「ふれあい推進事業・会計基準等」についても、上記内容に合わせて改訂をする。

4) 森林ふれあい推進事業イベント 一覧表について (脇本)

イベント一覧のチラシは印刷後（2,000部）、高尾森林ふれあい推進センター内FIT保管スペースに保管。（3/18頃）

➡ 必要な方は適時、活用して頂きたい。

(実績)

1) 春の健康ハイキング～北高尾の森で春を探そう～ 2022.3/9 (脇本)

応募56名→抽選30名（5名キャンセル待ち）、26名参加、コースが変化に富みゆっくりした山歩きで楽しめたとの感想。申込みの内訳：定年時代25人、FITHP8名、森林センターHP3名、イベント一覧表3名。スタッフ8名、体験参加2名。

来年は従来の木下沢林道の予定。

(予定)

1) カタリ・シェン・ベニダラガを訪ねる春風ハイキング 2022.3/25 (代読：長谷川)

現時点でメール32名、葉書55通（人数未確認）、3/11締め切り、抽選で30名選出+キャンセル待ちで対応。マスコミ掲載：アサココ（2/3）、定年時代（3/7）。

2) 高尾山 春の親子自然観察会 2022.3/27 (三井・葛西)

申し込み状況メール6組（17名）3/11締め切り、班長5人予定（4名決定、参加者数により4班集体を検討）下下見済、2/17下見（葛西）

日程の再検討を提案、小学生にとって3/27は忙しいと思われる。（三井）

➡ 2022年度は既に決定しているので2023年度なら検討可能（長谷川）

3) 「春の香りに誘われて」スレヤフガアオがひっそり咲く日影沢へ 2022.4.12 (鈴木)

班長4名、30名予定、申し込みは15名。

マスコミ掲載：読売シティライフ（3/7）、読売多摩版（3/18）。

チラシはふれあいセンター、599ミュージアムなど。

4) 三山踏破（陣馬山・景信山・高尾山） 2022.5.11 (脇本)

これから準備に入る。

5) 風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ 2022.5.24 (飯塚)

後半の登り返しがハードなコース、途中の千木良バス停からエスケープ可、30名募集、申し込みは5/10必着。スタッフ7名を予定。

6) セッコクと初夏の草花を訪ねて 2022.5.31 (藤岡)

過去2回が中止、30人募集、班長4人（班長5人、アシスト+体験参加も検討）

2. 田園調布学園土曜講座（小川）

2月プランを提出済み、8講座予定、5講座については既に申し込み定員を上回っている。

4月新入生が加わるので、受講申し込みは増える。

3. クラフト等イベント担当（丸山・枝澤）

① クラフト研修会 2022.4/2（土）高尾森林ふれあい推進センター

申し込み11名（定員20名）、講師9名、謝金は¥3,000/名、不足分は事業部会で対応希望。

➡ クラフト研修の謝礼は予算に入っていない、¥20,000円程度の支出で検討、来年度は予算に組み入れる。（長谷川）

② 第31回 みどりとふれあうフェスティバル 5/14(土)、5/15(日)

会場：木場公園 イベント広場、多目的広場 等 ➡ 活動促進費 (60,000 円) にて準備。

F I Tスタッフ謝礼 (120,000 円) : 特別会計 (活動助成金) に申請。(2,000 円*延べ 60 人)

会場が変更となり規模が不明、クラフト研修の講師を予定している。

5/14 または 5/15 野鳥公園でのイベントの可能性はあるがみどりフェスティバルと重なった場合はみどりフェスティバルを優先 (丸山)

4. 高尾山G C作戦 (槇田)

・実績：3月5日 (土)

いろはの森コース：参加者 30 名 (一般 22 名、F I T 8 名)、スタッフ 10 名。

・予定：4月2日 (土)

琵琶滝コース (6号路)：下見 3/26。

参加者 30 名、5 班、サポーターと併せて計 40 人を予定。

5. 低山はいかい (瀬川)

・実績：2月23日 (水・祝) 黒山三滝から義経伝説の顔振峠を歩く 参加 21 名 主幹事：福田

・予定：3月23日 (水) 宝篋山 (ほうきょうさん) の春を訪ねる 主幹事：小菅

6. 外部案件 (横井) 別紙参照

・実績：調布市体育協会リフレッシュハイキング (3/9 実施予定) ➡ 中止 (コロナ禍)
今秋に実施を予定。

7. 会計報告 (古谷) 別紙参照

(3) その他

次回から開示時間：17時45分 (15分繰り上げとなります。)

以 上